

UNION PRESS

2009年7月 No9

埼玉大学では、祝日は休日です

6月29日労使懇談会で当局が提起した祝日授業日案——7月21日（月・祝日）と10月11日（月・祝日）を授業日にして、代わりに、4月30日（金）と12月24日（木）を休みにする——を前に改めて考えさせられたこと。それは、休日とは、私的なものか、それとも社会的なものかという点である。

休日が単に私的なものであるならば、各事業所が個別に休日を定めればよい。当局の提案も大学内部で合意が取ればよい。

しかし、休日は、大学を超えた、社会的なことがらである。家族とともに休養し、地域社会などさまざまなコミュニティに参加し、文化やスポーツに接しそれらに親しむ日である。だから多くの事業所や学校は、土日祝日に休日を入れる。当たり前のことである。映画を一人で見ただけなら、平日のほうが空いているかもしれないが、2人以上で何かするならば、休日を合わせなければ困る。

今回、当局が提示した祝日授業日案には、このような配慮があるのか。埼玉大学の構成員が祝日に各々築いている家族やその他の社会関係は、どうになってしまうのか？子どもを保育園に預けて仕事をしている人もいだろう（祝日に保育園は空いていない！）、休日に家族で老父母に会いに行くのを日課にしている人もいだろう（平日の代休日では、子どもは学校だ！）。フットサルの試合を予定している人もいだろう（大会は土日祝日だ！）。

当局案は、「たかが2日」かもしれない。しかし、休日には、関係のない人が土足で踏み込めない固有の時間がある。それも、個人として休養するだけでなく、家族や隣人・知人などと過ごす大切な時間が。祝日の代わりに、平日を休日にされては、その関係性が断ちきれてしまう。社会関係の希薄化が問題となっている今日において、そのような社会性をサポートすることこそ、大学が果たす今日的責任ではないか。

当局側も、職員に関して育児などで休む場合は、応援体制を取るといっている。しかし、待つてほしい！多忙化の中、何故そこまでして無理して祝日に休みを入れようとするのか？既にこの2年間、月曜日の授業を他の曜日に振り替える試みが行われている。この試みで特段の不都合が生じたという話は、6月29日労使懇談会では聞かれなかった。ならば、現行のままでよいのではないか。

教員に関してはどうか。当局側は、祝日出勤が困難な先生は、月曜日以外に授業を入れればよいという。しかし現実には、月曜日には語学の授業があり固定されている。学部によっては、必修の授業が月曜日に入っている場合もある。事は、簡単ではない。

入学試験や、社会人を対象とした授業のように、教育上の特段の理由があるならば、休日出勤もやむを得ないかもしれない。しかし今回の場合は、4～5月の連休を5連休ではなく7連休にする（あるいは、クリスマスイブが楽しめる）という学生のニーズを理由の一つに挙げている。このことが、特段の理由といえる

のか。特段の理由がないことを示すものではないか。そこでは、5連休では物足りない、あるいはクリスマスに観光地にいける財力のある学生（あるいは教職員）がイメージされているように思う。でも、そういう人は、それこそ自分の意志で休めばよい。そんなことが理由で、私たちの大切な休日が置き換えられて、あたふたするのはたまったものではない。

最後に1点確認しておきたい。それは、埼玉大学では、土日祝日は休日と規定していることだ。それを前提に、一方で大学として給与や休暇、諸手当の制度を定めていて、他方で私たちは、その休日に大学の仕事とは離れた、社会的な生活を送っているのだ。休日に豊かな時間を過ごすことができ、翌日からの大学での仕事もやる気が出るというものだ。家族や知人に、「仕事があって行けないよ」と言い訳しないで済む職場を作る必要がある。「たかが二日」、「されど二日」。むやみに、休日出勤日を増やしてはならない。

チェックオフ制度にご協力下さい！

7月の組合費からチェックオフ（給与天引き）の制度が動き出します。まだ「給与控除同意書提出のお願い」をご提出でない組合員のかたはお急ぎください。組合の事務効率化・経費削減にご協力ください。

用紙をなくしてしまったという方は組合事務室までお電話・メールをくださればお届けに上がります。署名・捺印した用紙を事務室まで届けるのがご面倒な場合は、お近くの執行委員までどうぞ。

「職員のための英会話講座（SEC）」へどうぞ！

埼玉大学のネイティブ・スピーカーの先生方による「職員のための英会話講座（Staff English Club）」の6月の予定は以下の通りです。少人数で堅苦しくなくやっています。お昼休みなのでランチ持参でどうぞ。

7月の予定	講師	場所
7月 8日(水) 12:20—13:00	ミルン先生	同研究室 (教養学部棟 4階)
7月13日(月) 12:20—13:00	カンバルテル先生	同研究室 (経済学部研究棟 3階)

★SECは、8月と9月はお休みします。10月から再開します。ご了承ください。

発行元：埼玉大学教職員組合	Tel&Fax 048. 853. 5609 (内 3160)
E-mail:saidaikumiai@hotmail.co.jp	HP: http://19.pro.tok2.com/~saidaikumiai/
組合事務室は生協第二食堂内	月～金 (ただし木曜日は除く)、午後 12 時～5 時開室